**でをかるときの**

＊なです。よくおみいただき、ごながありましたら、なくまでおいわせください。

１、おさんのは、、がしてえていただくのがです。

をけるときは、おさんが○から○までにしていることと、ではとしてのができないということを、ずにおえください。によっては、とだけのをしてくれることがあります。ごをおいします。

しかし、やむをないでがえることができないときは、とでしいの、のがにわってえることがあります。このは、とをした「」をにしてください。

（は、、であり、やおよびのがうことは、・などでにされています）

２、は、おさんをしたがししたもの、または、そののによってでしたものにります。などでにした（でしたやによりわれるものをむ）は、ではえることができません。

３、のなでしたは、としてはできません。たとえば、、じようなにかかったときにからされたや、・などにしてされたはではえることはできません。

４、は、のショックをこすがあるのでえることはできません。なでやむをず、しなければならないは、からのなをにしてください。をえるは、その、にごいたします。

５、「がたらませる」「がたらませる」「がきたらませる」というように、をしてをえることは、としてできません。そのようながじたは、その、にします。

６、の（・てんかん・・アトピーなどのように、がくような）のやについては、（）ので、どものまたはのにうといてあります。にをどもにえるは、、について、のがです。

やのしかたについては、にとのでをします。

７、するについて

　①がしたにはず「」をしてください。

「」があるには、そのコピーもしてください。

　②するは1のにして、のみをしてください。

（からされたのなえはできません）

　③やにおさんのをずしてください。